

委員会報告

オープンキャンパス土木学会2018 開催報告

コミュニケーション部門 土木広報センター
市民交流グループ 土木の魅力グループ

「オープンキャンパス土木学会」 について

土木の魅力グループでは、2017年より始まった「オープンキャンパス土木

表1 オープンキャンパスプログラム

プログラム	担当委員会
どぼくふれあいフェスタ 橋梁模型実験	構造工学委員会
実験で学ぶ土砂災害	地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会
ポケドポカードゲーム	企画委員会 若手パワーアップ小委員会
液状化実験	コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
アーチ橋模型	コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
トンネル実験	トンネル工学委員会 技術交流部会
歩測体験	コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
どぼくシアター	土木広報センター、図書館・情報室
どぼくテラス	土木広報センター、出版事業課
どぼく七夕まつり	土木広報センター、コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
どぼくクイズラリー	土木広報センター
明治150年特別展示	土木広報センター、関東支部、関西支部

「オープンキャンパス土木学会」 のプログラムの紹介

オープンキャンパスのプログラムを表1に示す。土木学会の各委員会のご協力

学会」を2018年度も7月7日(土)に土木学会本部構内(東京都新宿区四谷)にて開催した。この催しは、土木学会構内を広く一般の方々にも開放し、学会関係者やその家族、学生など、多くの方々にご来場いただき、さまざまな体験型プログラムや学会が保有する史料・映像などを通じて、「土木」への関心と理解を深めていただくという取り組みである。さらに、地域の方々や土木以外の仕事に従事する方々にもご来場いただき、地域・社会に開かれた学会として、有する知見や資源を社会へ広く還元・貢献していくことを目指しているものである。



写真1 橋梁模型実験

のもと、各プログラムを開催しており、このなかでいくつかの内容を紹介する。「どぼくふれあいフェスタ」では、写真1に示す橋梁やトンネルの構造、土砂崩れや液状化の仕組み、足を使った距離測定、写真2に示す防災をテーマにしたカードゲーム(ポケドポカードゲーム)など、土木関係者以外でもわかりやすい実験や体験を通して、土木を学んでいただいた。「どぼくシアター」では、子どもから大人まで楽しんで土木について学んでいただくことを目的として、表2に示す映画を上映した。



写真2 ポケドポカードゲーム

また、今年には明治150年にあたることから、「明治150年特別展示」として、写真3に示す明治時代に土木技術発展に貢献された偉人を紹介した「土木コレクションパンナー」および、明治時代における橋梁設計図などの土木図書館所蔵の貴重品の展示を行った。合わせて、土木偉人の代表する功績を絵札とした「土木偉人かるた」も行い、大人も子どもも盛り上がるものとなった。

また、「どぼくクイズラリー」として、各プログラム会場でクイズを出し、ラリー形式とすることで、より多くの方に各

表2 どぼくシアタープログラム

シアター名	時間	対象
日本初の地下鉄建設	32分	一般向け
勝鬨橋	28分	一般向け
立山砂防・土砂との闘い～世界に誇る防災遺産～	14分	アニメ
未来に向けて～防災を考える～「釜石の出来事」	30分	アニメ
日本初の地下鉄建設	32分	一般向け
夢は世界を駆けめぐる～海外技術協力のパイオニア～	21分	アニメ
人をたすけ国をつくったお坊さんたち	20分	アニメ
水とたたかった戦国の武将たち	20分	アニメ

プログラム会場に足を運んでいただき、体験していただくような仕組みとした。

「オーブンキャンパス土木学会」のアンケート結果と来年度に向けて

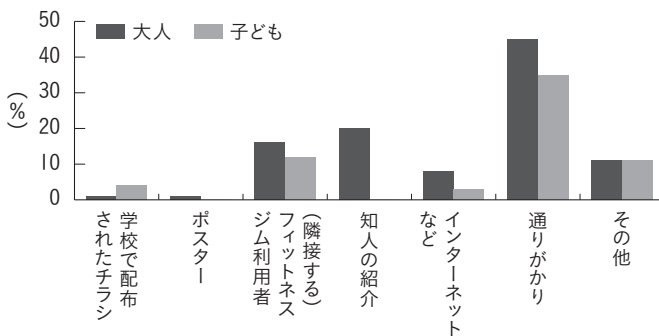
来場者にはアンケートにご協力いただいた。アンケート結果を図1に示す。自由意見では、大人も子どもも楽しんでいただき、開催趣旨のとおり、土木に対する興味を持ってもらえたと感じられるアンケート結果となった。また、来場のきっかけとしては、「通りがかり」が最も多く、次いで「知人の紹介」「(隣接する)フィットネスジム利用者」が多かった。



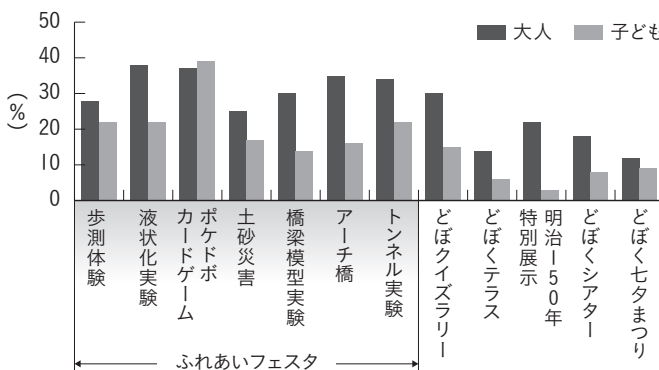
写真3 明治150年特別展示

来場者数は203名と、2017年度の217名から少し減少する結果となった。2018年度における広報活動の新たな取り組みとしては、近隣小・中学校各1校へのチラシ配布を行った。2019年度は来場者数の増加を目指し、チラシ配布範囲を増やすなど、近隣自治体との連携をさらに強化して情報発信を行うとともに、新たなプログラムも考案し、より魅力的なものにしたいと考える。本文をご覧になられた方は、2019年度のオーブンキャンパスに積極的に参加および広報いただくと幸いである。

■来場のきっかけ



■おもしろかったプログラム (複数回答可)



《自由意見 (大人)》

- こんなところに土木学会があるのもしりませんでした。クイズもたくさん楽しめ、ママも勉強になりました。パパに自慢します。
- たまたま通りがかって入りましたが、なかなか面白かったです。子どもに説明するのは家ではなかなかできないので、模型もあってわかりやすくてよかったです。毎年参加したいです(^v^)
- 昨年参加して大変面白かったため、また来たいと思っていたところ、本日偶然通りがかって第2回に参加できました。……次回は偶然ではなく予定して来場したいと思いますので、ぜひ1ヶ月ぐらい前から告知いただけたらありがたいです。どうもありがとうございました。

《自由意見 (子ども)》

- (来年も)全部やってほしい。
- 大雨がふると山がくずれることがわかった。
- 歩測体験がおもしろかった。
- 来年もどぼくシアターをやってほしいです。
- ポケドカードゲームのコンピュータ版が一番のお気に入りでした。トンネル実験での砂遊びも好きでした。
- トラスが強い、丸いトンネルが強いことがわかった。
- 来年もどぼくクイズラリーをしてほしい。
- たのしかったのはじっけんです。じっけんのもんだいもたのしかったし、じっけんもたのしかったです。
- 同じざいりょうでも工夫すれば強い形になることが、はじめてわかった。

図1 来場者へのアンケート結果